

競技上の注意事項

1. 用具、服装等

特に定めないが、一般に市販されているものの範囲内であり、安全であることを原則とする。また、頭部保護のためクラッシュヘルメットを着用すること。

2. スタート順

スタート順はプログラムに記載のとおりとする（プログラムは大会当日に配布）。

3. コースインスペクション（コースの下見）

インスペクションは定められた時間内（9：00～9：30）に行う。

以下の点に注意すること。

- ① 入場は、インスペクション終了5分前までとする。
- ② スキーを履いて行うこと。
- ③ スキー板を平行にして2旗門以上滑らないこと。
- ④ コースの旗を旗門セット通り2旗門以上なぞって滑らないこと。
- ⑤ 終了時間となった時は、速やかにコースから離れること。

4. スタート地点への集合

(ア) 定められた時間（競技開始予定時間の10分前）までにスタート地点に集合し点呼を受ける。点呼はスタートハウス横で行う。

(イ) スタート時間にスタートできなかった場合は失格とする。

5. スタートの合図

電気時計器の発音音の合図によってスタートする。

6. 旗門の通過

旗門は赤・青とそれぞれ交互に構成され、同色ポールの旗門線をスキーの両先端と両足で横切れれば通過となる。一本のスキーを失った場合、残りのスキーの先端と両足が旗門線を通過しなければならない。

なお、スイッチバックは危険回避のため禁止とする。

7. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインを、両足とスキーの両先端で、または、両足と片方のスキーの先端で、またはフィニッシュエリアのすぐ近くで転倒した場合は両足で、横切らなければならない。

8. 失格事由

- (ア) 偽ってレースに出場した場合
- (イ) 旗門の通過をしなかった場合
- (ウ) 規程通りのビブスを着用しない場合またはそれを修正した場合
- (エ) スタートに遅れたり、不正なスタートをしたり、規則に違反した場合
- (オ) 競技中、他の競技者を妨害した場合
- (カ) 旗門またはフィニッシュ・ラインを正しく横切らなかった場合
- (キ) 両方のスキー板が外れた場合（ただしフィニッシュエリア直前はこの事由にあたらない）

9. 非公式タイムおよび正式タイムの発表

競技後、速やかに非公式タイムとしてスコアボードに表示される。公式タイムは、各クラス終了後、会場の掲示板に張り出しをする。（ゴールエリア付近）

10. その他

競技ルールにない問題が発生した場合は、競技委員長を主に協議し判定する。